

令和7年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立館山さざなみ学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・本校の特色である自立活動の学習で食育の授業を行い、旬や栄養バランスの取れた食事の大切さについて理解を深めることができた。
- ・調理実習や総合的な学習の時間で行ったトウモロコシやレタスの収穫体験を通し、自分の食生活への興味関心を高めることができた。
- ・片付けや洗濯の実習を行ったことで、家庭生活への関心や協力への意欲を高めることができた。

(2) 課題

- ・家庭での仕事への関心や、個の技術的な能力の差が大きい。
- ・衣、食、住の安全・衛生面への関心が低い。

2 授業改善のポイント（観点別） 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①一人ひとりが実習において様々な役割を担当し、安全面・衛生面に気を使いながら実習を行うことができるようにする。	①衣類を気持ちよく着るために、目的に合った洗濯や衣服の選択について考えさせる。	①経験や実生活とを結び付けて自分の課題を捉え、どう行動すべきか考えさせる。
②実習を通して、目的に応じた調理方法を学び、実生活に生かせるようにさせる。	②学んだことを基に、帰省した際に食事を任せっきりにするのではなく、栄養バランスを一緒に考えさせる。	②安全面・衛生面の工夫や技術を実生活の中で実践できるようにさせる。
③技能が高い児童には、ほかの児童の手伝いをする事で更なる深い学びを得られる場面を設ける。	③目的に合ったものの選び方や金銭の計画的な使い方を考え、購入できるようにさせる。	③寄宿舍での生活や家での時間の使い方を振り返らせ、規則正しい生活が自分の健康や成長にとってよいことに気づかせる。